

令和 元年 08 月 28 日

TJCAS-2019 参加報告書

群馬大学大学院 理工学府
理工学専攻 電子情報・数理領域
小林研究室 非常勤研究員 王建龍



参加学会名称

2019 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems
(TJCAS-2019 at Nikko)

開催場所

輪王寺「紫雲閣」1, 2 階
Hotel「千姫物語」
日光東照宮「客殿」

開催期間

2019/08/19(月)~8/21(水)

1、参加学会について

TJCASはTaiwan and Japan Conference on Circuits and Systemsの略であり、米国電気学会(IEEE)主催の回路とシステム関係の国際学会である。目的は、回路およびシステムに関連する最新の結果について情報交換するためのフォーラムを提供することである。本会議は2015年から開催しており、今回で5回目の開催である。今年は日本の歴史文化都市である栃木県日光市で開催された。群馬大学小林研究室から29名（学生27名、教員2名）が参加し、28件のポスター発表を行った。

8月20日のPoster Session 2の2C (Amplifiers / Data Transmission Circuits)にて

An Idea to Obtain the Open Loop Characteristics of OPAMP by Closed Loop Results
のタイトルにてポスター発表を90分間行った。国際学会の発表は過去に何回も行ったことがあったため、落ち着きを持って発表を行うことができた。ポスターは発表の内容としては閉ループ特性（今回はバッファ接続に限定）から開ループ特性を得る方法のアイデアであることを明言するものである。

今回の研究は群馬大学客員教授 源代裕治先生から懇切丁寧なご指導をいただきました。源代裕治先生に心より感謝申し上げます。

発表自体は無難に進んだが、質疑応答ではいくつか質問を頂き、内容を理解して最低限の英語で答えられたと思う。ただ、詳細な説明ができなかったため、私の伝えたいことを全て伝えることはできなかった。聞き取れても言いたいことを表現できない(言葉が出てこない)こともあった。難しく感じたことは、必ずしも質問は5W1Hではされないということである。質問者が長く話した後、その話の中から「聞きたい要点は何か」を考えることに苦労した。最初は質問者の質問と私の回答が噛み合わず、何回か会話するうちにお互いの意図が分かった。まだまだ英語力が乏しいことを痛感し、更に英語を勉強するモチベーションが上がった。また、研究内容も勉強になることが多く、大変有意義であった。

現場では、たくさんの質問者から肯定的なご意見を頂いた。実用的な回路設計での使用が期待されている。

2C (Amplifiers / Data Transmission Circuits)

Session Co-Chairs: Koichi Ogino (RICHIO Electronics), Seijiro Moriyama (Anagix), Mineo Kaneko (JAIST)

*	2C-01	Gaku Ogihara, Anna Kuwana, Haruo Kobayashi (Gunma Univ.)	Parallel Low-Gain Amplifiers Equivalent to High-Gain Amplifier
*	2C-02	Tamazawa Yuki, Masahiro Sasaki (Shibaura Inst. of Tech.)	Analysis of Fully Differential Op-amp with Sampled Input Signal
*	2C-03	Wang Jianlong, Yuji Gendai, Anna Kuwana, Haruo Kobayashi (Gunma Univ.)	An Idea to Obtain the Open Loop Characteristics of Opamp by Closed Loop Result
*	2C-04	Hsin-Yu Tseng, Jia-Yin Chen, and Lih-Yih Chiou (National Cheng Kung Univ.)	Hardware Implementation of AES-GCM
*	2C-05	Ruilin Zhang, Hirofumi Shinohara (Waseda Univ.)	High-Throughput & Power Efficiency 8 Bits Von Neumann Post-Processing with Waiting Strategy for True Random Number Generators

写真1 発表のプログラム



写真2 「東照宮客殿」での基調講演

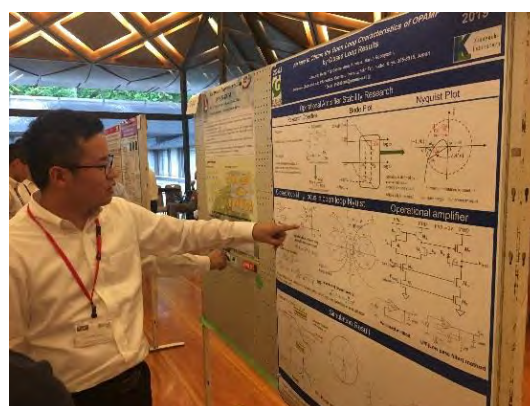


写真3 筆者のポスター発表の様子

2、交流について

自分の研究を紹介したり、他人の研究を聞いたり、意見を交換したり、これらは学会に参加する目的の一つだと思う。



写真4 久しぶりの石川信宣さん



写真5 女子会に侵入



写真6 レセプション (8月19日(月) ホテル千姫物語) 写真7 レセプション

3、文化体験について

日本に来て何度か国内学会、海外での国際学会に参加したが、世界遺産内で開催される学会に参加するのは初めてである。



写真8 東照宮の石鳥居



写真9 華厳の滝

8月21日（水）午後 学会主催のエクスカージョンとして 皆で日光江戸村に行く



写真10 日光江戸村の正門



写真11 古都の雰囲気町の並みが作られている



写真12 江戸村内の歴史的な魅力を満喫



写真13 歴史的な魅力を満喫



写真14 皆が江戸村内で散策



写真15 日本の伝統演劇を鑑賞

4、今後へ向けての抱負

国際学会に参加という本当に貴重な体験をさせていただき、日本の文化に触れ、様々なものを見て感じ、たくさん勉強になったと思います。今後もより一層、研究に力を入れ

て頑張っていきたいと思います。

このような貴重で有意義な機会を与えてください、研究を指導して頂きました小林春夫先生、源代裕治先生、学会参加のサポートをしてくださった桑名杏奈先生に感謝を申し上げます。今回学んだことを今後に生かせるよう日々精進してまいります。



写真 16 豪華な会場（東照宮「客殿」）

*写真の引用元について

- 封筒写真、写真 1 は学会のホームページによりダウンロード。
- 写真 2、写真 3、写真 6～写真 8 は群馬大学孫逸菲が撮る。
- 写真 4 は石川信宣さんの Facebook によりダウンロード。
- 写真 5 は群馬大学趙宇杰が撮る。
- 写真 9～写真 16 は筆者が撮る。